

# 三河の昆虫

No. 9 1975年3月

〒448 刈谷市井ヶ谷町  
愛知教育大学昆虫研究室内  
三河昆虫研究会 発行  
第一プリント社 印刷  
☎ 4564 ㊟ 4463

## 豊根村で

## ギンイチモンジセセリを記録

村松 津葉沙

三河地方のギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* BREMER et GREY の記録については散在的に採集されているが、北設楽郡については広い空白地帯がある。筆者は北設楽郡の豊根村で採集目撃の経験があるので報告する。

- (I) 採集地：愛知県北設楽郡豊根村葦平橋付近  
採集日：1974年6月1日（1♂）

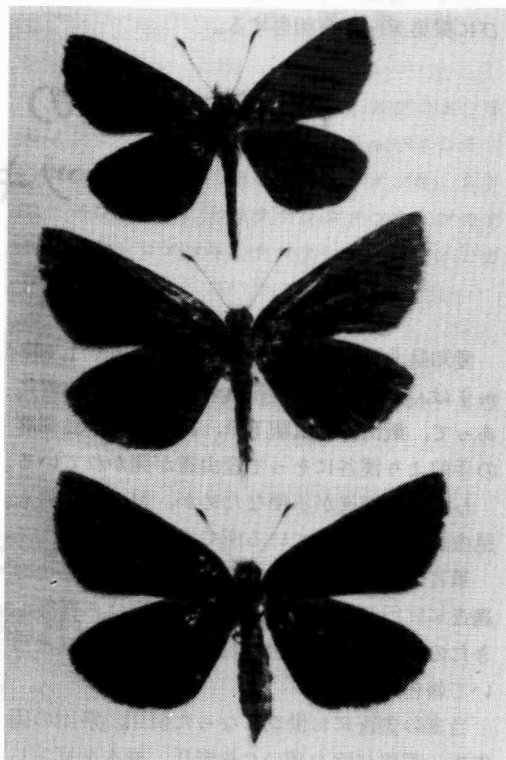
当地域の道路脇にあるヨモギ群落の葉上を弱々しく舞っている所を採集した。午後4時も過ぎていたし、その場所はすでに日陰であった。採集したのは羽化直後の新鮮な個体である。

- (II) 採集地：愛知県北設楽郡豊根村葦平  
採集日：1974年6月9日（1♀）

当地域の畑に生えている雑草の花に飛来した所を採集した。晴れの良天で午前10時頃だったと思う。飛び古してはいるが翅に破損はなくほぼ完全な個体である。

- (III) 採集地：愛知県北設楽郡豊根村茶白山  
採集日：1974年6月26日（1♀）

茶白山中腹（1,000 m 当り）の道路脇の草花から舞い上がった所を採集した。得た個体は飛び古してはいるがほぼ完全なものである。また、場所を同じくして1頭♀を目撃した。



(上) ♂, 1-VI-1974, 葦平橋産,  
(中) ♀, 9-VI-1974, 葦平産;  
(下) ♀, 26-VI-1974, 茶白山産。

# 豊根村における ミスジチョウの産地

村松 津葉沙

愛知県のミスジチョウ *Neptis philyra* MENETRIES の産地は、知多郡内海町、南設楽郡作手村、設楽町段戸裏谷などが知られ個体数共に決して多くは採集されていない。

ところで筆者は1974年に豊根村葦平で調査をしていた折に本種を採集した。

また、年を同じくして桜ヶ丘高校生物部員が合宿をかねて豊根村に来られた。そして同クラブのメンバーの一人である小島清司氏も採集されたそうである。

以下に豊根村におけるミスジチョウの産地並びに採集データを報告する。

- (I) 採集地：愛知県北設楽郡豊根村坂字場葦平  
 採集日：1974年6月8日 (1♂)  
 " " 6月18日 (1♂)  
 " " 6月19日 (1♂)  
 " " 6月22日 (1♂)  
 採集者：村松津葉沙(所蔵)

- (II) 採集地：愛知県北設楽郡豊根村坂字場日余沢  
 採集日：1974年7月27日 (1♀)  
 " 1974年7月29日 (1♀)  
 採集者：小島清司

# 日本ヶ塚山の コメツキムシ12種

山崎 隆弘

愛知県北設楽郡富山村の日本ヶ塚山(1,107m)は、静岡県と長野県との県境に近い位置にあって、飯田線大嵐駅下車、富山村の漆島部落の手前より溪谷にそって登山道が開かれている。しかし、交通が不便なためか、県下でも最も昆虫調査のおくれている所である。

筆者は、1974年6月16日に三河生物同好会の調査に同行し、当山において4時間ほど採集できたので、そのとき得られたコメツキムシについて報告する。

当日の調査にお世話になった恒川、宗川の両先生、採集に協力頂いた松野氏、標本を同定して頂いた大平先生に心から感謝の意を表す。

## 採集品目録

- (1) *Adelocera fuliginosus* (Candeze)  
 ホソサビキコリ 1 ex.

- (2) *Agrypnus binodulus binodulus* (Motschulsky)  
 サビキコリ 1 ex.
- (3) *Gambrinus rufipennis* (Lewis)  
 ハネアカカネコメツキ 1 ex.
- (4) *Ampedus rufipes* (Lewis)  
 アカアシクロコメツキ 2 exs.
- (5) *Pseudelater carbunculus* (Lewis)  
 ヒメクロコメツキ 1 ex.
- (6) *Vuilletus viridis viridis* (Lewis)

- ミドリヒメコメツキ 1 ex.
- (7) *Melanotus restrictus* Candeze  
オオクロクシコメツキ 1 ex.
- (8) *Melanotus japonicus* Ohira  
ハネナガオオクシコメツキ 2 exs.
- (9) *Melanotus koikei* Kishii et Ohira  
ヒラタクシコメツキ 1 ex.
- (10) *Melanotus senilis* Candeze  
クロクシコメツキ 1 ex.
- (11) *Dicronychus nothus* (Candeze)  
オオハナコメツキ 1 ex.
- (12) *Paracardiophorus pullatus* (Candeze)  
コハナコメツキ 2 exs.

## 三ヶ根山のコメツキムシ

山崎隆弘

三河湾国定公園内にある三ヶ根山(320 m)は、ありふれた山のためか昆虫相の調査はあまりなされていないが、三河湾を眺めることができ、行楽に訪れる人は多い。

私は、1974年5月12日に、この山で採集を試み、若干種のコメツキムシを採集したので、ここに報告しておきたいと思う。なお、採集に協力して頂いた伴憲隆、照井正康の両氏、同定のお世話になった大平仁夫博士に対して心からお礼申し上げます。また、以下に記す和名は、大平先生の「日本のコメツキムシ」によった。

ホソサビキコリ、サビキコリ、ヒゲコメツキ、ヒメシモフリヒラタコメツキ、チャバネシモフリヒラタコメツキ、キバネホソコメツキ、ミドリヒメコメツキ、ヒラタクシコメツキ、アカアシオオクシコメツキ、クロクシコメツキ、コガタクシコメツキ、コハナコメツキ。

## オオキンカメムシを 蒲郡市で採集

伴 憲 隆

蒲郡市清田町枯木地内のミカン畑で、ミカンの木の葉裏に静止している本種を1頭採集したので報告する。

本種は美しい大型のカメムシで、愛知県では、渥美半島や安城市内などで採集されているが、蒲郡市では最初の記録で、オオツノカメムシの

分布とともに、地域的に興味ある分布と思われる。

採集日は1974年12月26日である。標本は筆者が保管している。

## 宮路山でアカスジキン カメムシを採集

山崎隆弘

筆者は、1974年5月26日に宮路山の長沢登山道で、アカスジキンカメムシを1頭採集した。また、7月に照井正康氏も1頭採集されているので、ここに報告する。

東海地方では、三重県の藤原岳が個体数も多くてよく知られている。三河地方では、本宮山、作手高原、猿投山(1974年6月1日に伴憲隆氏が1頭採集)等で採集されているが、個体数は少ないようである。今回の宮路山のような低山地で採集されたことは、大変興味深いことである。

# 私 と 昆 虫

—その8—

久永和彦

私は時々自分の過去をふり返ってみるが、その出来事の多くは何らかの形で昆虫とのつながりのあることに気づく。昆虫の世界に足を入れる直接の動機となったのは、小学校4年生の春当時中学3年生だった姉から与えられた一冊の昆虫図鑑(保育社)であった。その当時は昆虫の中でも蝶などは関心はなく、ハチとかセミの方が身近かに感じられ、夢中になって追い求めた。特に岡崎市内の正満寺ではじめて発見したセイボウのあの青緑色の金属光沢は今なお強く印象に残っている。そのため、中学時代まではセイボウやスズメバチの仲間を求めて近くの野山を駆けながら自然と大いに遊んだ。

小学校以来、現在まで勉強嫌いで通して来た私にとってスズメバチの採集とかアゲハチョウ(当時遊び仲間から毒チョウといわれ、嫌われていた)の吸水をじっと眺めることは唯一の勉強の場であり、同時に私の昆虫への情熱をいっ

そう駆りたてる大きな出来事となった。

特に、スズメバチの採集では“怖いもの知らず”で軒下に群がるハチを「一網打尽」の勢いで立ち向うあの気道は今では想像もつかないが、当時を再現するかのように一昨年(1973)の夏、安城農林高校の足助の演習林実習の際、大きなキロスズメバチの巣を口径43mmのネットに入れるのに失敗し、ハチの大群におそわれたが生徒の機転で危く難を逃れた苦い経験もあった。今なお、ハチへの情熱は失なわないが、なぜか縁遠いものとなってしまった。

高校時代は昆虫に関して全く空日の時代となった。夜間高校に通学して時間的余裕に欠けていたという理由も成り立つが、自分の怠慢でもある。しかし、小学校以来からの昆虫への潜在的意識は強く、それが一気に具体化したのは3年目の夏の頃であった。その頃ひそかに大学進学を志し、自分の好きな分野に進もうと決めていたので、岡崎のある古本屋で小山長雄先生の「昆虫の実験」(陸水社)を購入してからは今まで心の中にあった昆虫への情熱が再燃したのである。大平先生のお名前をはじめ知ったことや、教育大学の第1回の昆虫展が岡崎のオカダヤで開かれたのもこの頃であった。

このように私は不思議と昆虫の書物との出会いが多い。今では明治時代の古いものから最新刊まで200冊ほどの蔵書があり、昆虫標本の少ない私にとってこの蔵書の増えるのが楽しみの一つとなっている。

昭和45年4月、念願であった教育大学の大平先生の研究室に入学し、昆虫への愛着とその生命の神秘さにますます心を打たれるのである。

